



1940年代前半の雅楽録音における唐楽のテンポ : 国際文化振興会制作レコード『日本音楽集』をめぐって

寺内, 直子

(Citation)

国際文化学研究 : 神戸大学大学院国際文化学研究科紀要, 30:1-29

(Issue Date)

2008-07

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81000857>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81000857>



1940年代前半の雅楽録音における 唐楽のテンポ

～国際文化振興会制作レコード『日本音楽集』をめぐって～

寺内 直子

はじめに

本論は、1940年代前半、すなわち、まさに太平洋戦争の時期に行なわれた雅楽録音の音楽的内容を検証することを目的としている。筆者は、20世紀初頭に行なわれた雅楽録音¹のテンポとフレージングを分析した論考をすでに発表しているが（寺内2002）、本稿は、その約40年後、1940年代はじめの録音について同様の分析を行ない、時間の経過とともに、音楽的内容がどのように変化したのか、あるいはしなかったのかを比較検討する。

近年、古い録音資料の復刻が相次ぎ、近代の音楽実践の歴史的考察のための環境が次第に整いつつある。しかし、資料の数はいまだ十分ではなく、また研究者の学術的取り組みも十分とは言えない。本論は、戦前のSP録音の技術的限界に十分配慮しつつ、貴重な録音資料を音楽研究に活用する試みとして、再び試論を提起するものである。

1. レコードの概要

本稿で分析の対象とするレコードは、1942年頃に、現在の国際交流基金の前身である国際文化振興会によって、おもに外国に日本の音楽を紹介するために発行された非売品の10インチSPレコード『日本音楽集（Album of Japanese Music）』である²。国際文化振興会（通称KBS³、以下KBSと略す）は、日本と海外の文化交流を目的に、昭和9（1934）年、外務省・文部省下に設立された財団法人である。1972年に、国際交流基金へと発展的に解消した。芝崎厚士によると、KBSのおもな活動は、講演会、演奏会などの開催、学者、芸術

家など人物の交流、出版物、写真、映画、音盤などの資料の作成と寄贈、会館、図書館等の文化施設設営などであった（芝崎1999：81-82）。日本音楽のレコード制作は、この「資料の作成」の一環として行なわれたと思われる⁴。

国際文化振興会発行の機関誌『国際文化』16（昭和16年10月）によれば、レコードの制作は音楽学者・田邊尚雄、町田嘉章、音声学学者・颯田琴次、音楽評論家・佐藤謙三、東京放送局国際部長・頼母木眞六、KBS常務理事・黒田清、といった人々が携わり、録音は放送局の全面的な協力のもとに行われた。レコードの制作は昭和14（1939）年7月ごろから選曲等が始まり、昭和16（1941）年の10月には選曲案が完成した。しかし、昭和17（1942）年6月26日づけ国際文化振興会の「昭和16年度事業概況」によれば、録音が終了し、実際の編集が完成したのは、昭和17年初め頃らしい。完成品の収録曲は、昭和16年の選曲案、60枚120面と数量は変わらないが、曲目は二割程度変更となっている。戦後、昭和24/28（1949/1953）年に、さらにそれをもとに、抄録のレコード⁵が作られた。

選曲は恐らく、民族音楽学者の田邊尚雄と、民謡研究家の町田嘉章が中心になって行われたものと推測される。田邊尚雄（1883-1984）は、東京帝国大学で物理学（音響物理学）を学び、日本、およびアジア音楽のフィールドワークと研究を精力的に行なった（平野1989a）。『日本音楽講話』（田邊1919）、『南洋・台湾・沖縄音楽紀行』（田邊1968）、『中国・朝鮮音楽調査紀行』（田邊1970）など多数の著作がある。一方、町田嘉章（佳聲）（1888-1981）は、三味線音楽などの近世邦楽のさまざまなジャンルに精通し、東京放送局（現NHK）で邦楽番組の編成に長らく携わった（平野1989b）。また、民謡の収集、研究も行ない、その成果は日本全国の民謡のアンソロジーである『日本民謡大観』（全9冊、日本放送協会1944-80）⁶にまとめられた。

『日本音楽集』は5巻、60枚（120面）からなり、ジャンルとしては、古代、中世から特権階級の人々に享受されて来た雅楽、声明、能、琵琶音楽、江戸時代の庶民に愛され、その音楽様式や演奏技術を高度に発達させた三味線、箏、尺八などの、いわゆる「伝統音楽」がバランスよく収録されている。また、地

方の庶民によって日常生活や祭りと結びついて伝承されてきた神楽、祭礼囃子、俚謡、わらべ唄、子守唄などの「民俗音楽」のジャンルが多数収められている（表1）。当時の一流の演奏家が録音している点においても、この時代の日本音楽の実態を知る上でたいへん貴重な史料である。

これらの選曲は、明治時代の二、三の新作曲を除けば、いずれのジャンルもいわゆる江戸時代までに成立していた「伝統的」な曲目を中心に選曲し、帝国主義的なプロパガンダとは無縁の楽曲が並んでいる。しかし、日本が太平洋戦争に突入し、芝崎によれば、KBSの活動の性格も、次第に文化の相互交流や理解から、「大東亜」圏における日本の文化の優位性や政治的プロパガンダの宣揚に重点が移り（芝崎1999：214-215）、このようなレコードを含む「日本文化」資料は、日本が当時領土としたいわゆる「外地」や移民先に配られたようであるので、間接的に「日本文化」の優位を喧伝するプロパガンダの道具として使われたということであろうか。しかし、今日では否定的に評価されるこのような社会的意味合いを差し引いても、この録音の「音楽的な価値」は依然として高い。むしろ、その選曲のバランスと演奏の質の点で、当時人々が、何を「日本音楽」として外国に紹介すべきと考えていたのか、そして、その音楽的な実態はどのようなものであったのかを考察する上で、たいへん貴重な資料といえるだろう。本論では、以下、音楽学的視点から、レコードの収録内容を簡単に紹介した後、雅楽・唐楽の拍節的な楽曲に焦点をしぼり、そのテンポとフレージングの分析を行ない、戦前の雅楽の演奏様式の実態を明らかにする。

参考までに、各巻の特徴を簡単に説明する。曲目やジャンル名のあとの数字とアルファベットは、表1に示した、レコードの面と対応している。

第一巻（1A～12B）

雅楽：日本固有系の歌謡の久米歌（1A）や東遊（1B）、唐楽・高麗楽の管絃と舞楽（2A-6B）、催馬楽（7A）、朗詠（7B）からバランスよく選曲されている。今日の宮内庁楽部の前身の宮内省楽部の人々によって演奏されている。

声明：天台、真言の声明を中心に選曲している。テキストの点から梵語

(例：四智讃 (8A))、漢語 (例：錫杖 (8B))、和語 (例：講式 (11B))、音楽的側面からはメリスマティックなもの (例：四智讃) とシラビックなもの (例：講式) を選んでいる。最後に、在家信者によって歌われることが多い和讃 (12A) とご詠歌 (12B) が収録されている。

第二巻 (13A～24B)

能：観世、宝生、金春、金剛、喜多の五流の演唱を収録。素謡のほか、囃子の伴奏による番囃子 (14A,B) や一調 (17A,B) の形式の演唱もある。〈高砂〉 (13A)、〈羽衣〉 (14A,B) などポピュラーなものが見える一方、〈定家一字題〉 (18A,B)、〈実方〉 (19A,B) など珍しい「蘭曲」も収録されている。狂言は、ふしをつけて歌われる狂言小歌 (小舞謡) (20A,B) が収録されている。演奏者はいずれも当時の一流のキャストである。

琵琶：四つのサブジャンルである、盲僧、平家、薩摩、筑前からそれぞれ一曲ずつ選んで収録している。

尺八：今日の二大流派の琴古流と都山流のほか、普化尺八からも選曲されている。また民謡〈追分節〉を尺八に編曲したものを「俗曲尺八」として収録している。

第三巻 (25A～36B)

箏：二大流派である生田流、山田流の古典的レパートリー (25A-27A) を収録するが、明治時代の新作〈御国の誉れ〉 (27B)、〈都の春〉 (28A) なども収録している。両者はともに、明治という新しい時代や天皇を讃える慶賀の内容を持つ曲である。

三味線：文楽、歌舞伎などの劇伴奏三味線音楽を収録している。義太夫は、歴史上の英雄や事件に取材した時代物 (29A,B) と、庶民の日常や情に焦点を当てた世話物 (30A,B) から2曲ずつ、その他、浄瑠璃の河東、一中、新内、宮蘭、常磐津、清元から、いずれも代表的な曲が1～2曲選曲されている。長唄は4曲収録されており、このうち〈操三番叟〉 (36A) と〈綱館〉 (36B) は

長唄特有の華やかな囃子つきの演奏である。

第四巻（37A～48B）

三味線音楽：地歌、萩江、うた沢、小唄、端唄など、室内で楽しむ小規模な三味線音楽を収録。

神楽、祭礼囃子：埼玉県の鷲宮神社の神楽、群馬県の榛名神社の神楽と、鹿踊や祭礼囃子など、民俗芸能の囃子が収録されている。

子守唄：東北から九州、沖縄までの子守唄を収録。ただし、一部は、芸者の演唱による、お座敷化した子守唄（45B）。

わらべ唄：子供の実際の遊びながらの演唱ではなく、児童合唱団によるわらべ唄のメドレーの録音（47A,B）。時折、背景に江戸囃子風の音楽の伴奏が入る。

俚謡：今日では「民謡」と呼ばれる、比較的都市化されていない地域の民衆の歌は、戦前では一般に「俚謡」と呼ばれることが多い。第四巻では、沖縄の八重山諸島の代表的な民謡が4曲収録されている（48A,B）。

第五巻（49A～60B）

俚謡：第五巻には北海道から九州までのさまざまな民謡が収録されている。その土地の民謡名人の演唱のほか、お座敷化した芸者の演唱（58A、60B）による民謡も収められている。民謡は、各地方の人々によって伝承されているという性格上、録音を現地で行う場合と、放送局のあるスタジオに伝承者を招いて録音する二つの場合が考えられる。KBS『日本音楽集』に収められた民謡は、同時期に町田嘉章が発行したレコード・解説書『日本民謡集成』（町田1940）と重なるものが十数曲ある。解説書『日本民謡集成』によると、町田は、昭和12（1937）年から現地録音を本格的に始め、昭和14年には、春、夏、秋に三回にわたって、四ヶ月にわたる調査・録音旅行を敢行した（町田1940：2）。KBS『日本音楽集』と重複する『日本民謡集成』所収の民謡の録音年月日は、おおむね昭和12～14年にかけてだが、一部、昭和4（1929）年の録音も含まれ

ている。

2. 雅楽の収録曲と演奏者

雅楽は、表1にすでに示したように第一巻に収録されている。レコードのクレジットには、演奏者は「宮内省楽部」とだけ記されており、実際の演奏者の個人名は不詳である。塚原康子の研究（塚原2001）によると、昭和14（1939）年当時、宮内省楽部には、表2のような楽人が所属していた⁷。このうち誰が1941年ころのKBS録音に参加したかは不明であるが、録音から推察すると、管絃の場合、龍笛、箏、篳篥、笙、琵琶、箏、太鼓、鉦鼓、鞆鼓各1名で、8名が演奏しているように聞こえる。

さて、収録曲の中から唐楽、高麗楽の拍節的な楽曲を取り出すと、表3のようになる。このうち、管絃吹⁸で演奏されているのは、〈越天楽（越殿楽）（えてんらく）〉〈青海波（せいがいは）〉〈抜頭（ばとう）（只拍子⁹）〉、舞楽吹¹⁰は〈崑崙八仙（こんろんはっせん／ころばせ）〉〈太平楽破（たいへいらくのは）（武昌楽（ぶしょうらく））〉〈太平楽急（たいへいらくのきゅう）（合歡塩（がつかえん））〉〈抜頭（ばとう）（夜多羅拍子¹¹）〉、それに、舞楽会の最後に演奏される〈長慶子（ちょうげいし）〉（右方¹²）である。よく知られているように、10インチSPレコードには、片面最大4分という収録時間の制限があるため、全曲が最後まで収録されているわけではない。また最後まで収録されている曲も、繰り返しを省略するなど、極力、エッセンスを無駄なく収録するよう工夫されている。

収録部分は以下の通りである。雅楽の伝統的な数え方である太鼓を区切りとするリズムパタンの単位「拍子」の数で示す¹³。たとえば、〈越天楽〉「拍子八」は、リズムパターンが8回繰り返される長さを表す。

○最後まで収録されている曲

〈越天楽〉（管絃）拍子八

越天楽はもっともポピュラーな管絃の楽曲で、三部分からなり、それぞれを

ABCと表すと、AABBCCAABBという演奏法が一般的だが、ここでははじめのAABB（拍子八）のみの、正規だが短い演奏法。

〈崑崙八仙〉（舞楽）拍子十四

高麗楽は本来、舞に合わせて、楽曲全体を何回繰り返すが、この演奏では、一回のみ。

〈長慶子〉拍子十六

舞楽の退場音楽として、快活なテンポで演奏される。このレコードは、通常の演奏法で、最後まで収録されている。右方の演奏法で、三鼓を用いている。

〈抜頭（夜多羅拍子）〉（舞楽）拍子十五

2 + 3 = 5 拍子（夜多羅拍子）の躍動感のあるリズムの楽曲。管楽器と打楽器のみの舞楽の演奏法で、最後まで収録されている。

○途中まで収録されている曲

〈青海波〉（管絃）

全体（拍子十二）の三分の一にあたる第四拍子（太鼓）のあと一小拍子まで収録。

〈抜頭（只拍子）〉（管絃）

2 + 4 = 6 拍子（只拍子）の楽曲。管絃の編成で、この演奏は全体（拍子十五）の約半分にあたる第八拍子（太鼓）のあと第三小拍子まで収録。

〈太平楽破（武昌楽）〉（舞楽）

〈太平楽〉は、「道行」「破」「急」の三楽章からなる組曲で、「破」は二番目に当たる楽曲。全体にゆったりとしたテンポで演奏される長大な楽曲。ここでは、全体（拍子二十）の五分の一にあたる、第四拍子（太鼓）のあと第三小拍子まで収録している。

〈太平楽急（合歡塩）〉（舞楽）

〈太平楽急〉は、三楽章からなる〈太平楽〉の最後の楽章。六部分からなり、それぞれをABCDEFと表すと、舞楽の場合、ABAB CDCD EFEF（拍子二十四）を三回繰り返す¹⁴演奏法が一般的。この演奏では繰り返しを省き、

ABCDEF (Eから加拍子) を収録している。また、Fのあとに唐楽の〈小乱声〉(尙越調) が収録されている (本稿では考察を省略する)。

これらのSPレコードの録音資料は、片面4分以内という収録時間の制限があるため、通常より速く演奏されたものが録音されたのではないか、という疑問が常につきまとう。つまり、録音は、テンポやフレージングなど、当時の音楽の実際を反映していないのではないか、という疑問である。しかし、演奏曲や収録部分の選択を見ると、上記のように、時間内に収録できる曲や部分を周到に選んでいると考えられる。このことから、録音されている音楽的な内容は、録音のための特別な (通常より速い) 演奏方法によらず、十分に通常の演奏習慣を反映したものと考えられる。

3. 収録部分のテンポ

まず、このレコードにおける楽曲のテンポの傾向について考察する。表3では、早拍子曲の一小拍子 (洋楽の小節に相当) を四分音符4拍に換算してテンポを測った。それをグラフにしたものが、グラフ1である。「小拍子」欄の数字は、演奏された小拍子の数を、いわば通し番号で記したもので、そのフレーズが、第何小拍子から第何小拍子にわたっているかを示している。たとえば、〈越天楽〉の1-4は、冒頭の次のフレーズに対応する。

・	・	●	・		←小拍子 1～4 (●は太鼓を打つ箇所)		
ト	ラ	ロヲルロ	・タ	アロ	ラアア	・	←唱歌 (龍笛)
1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	←四分音符の拍

〈太平楽破〉は延拍子で、1小拍子は8拍からなるが、ここでは便宜的に、1小拍子 (8拍) を早拍子と2小拍子分 (4拍+4拍) に換算する。「時間」欄には楽曲の演奏時間を示した。

まず気づくことは、分析対象8曲の中で、管絃の〈越天楽〉と〈青海波〉のテンポが他と比べて極めて遅いことである。これは、現在の管絃演奏とほとんど同じ「遅さ」である。始まりがそれぞれ♩=41、♩=34と遅く、楽曲の途中までの録音であるが、テンポの加速もごくわずかである。管絃の〈抜頭〉は、管絃吹ではあるが、躍動的な只拍子（2+4拍子）の曲であるため、〈越天楽〉〈青海波〉に比べると、始まりのテンポも速く、曲の半ばでは、♩=80程度まで加速している。

一方、舞楽曲は管絃曲に比べ、相対的にかなり速い。〈太平楽破（武昌楽）〉は、延拍子らしく、最初はゆったりと始まる（♩=45）が、半ばには♩=80～90程度まで加速する。それに続いて演奏される〈太平楽急（合歓塩）〉は、始まりがすでに♩=65で、上限は♩=120程度まで速くなる。管絃と舞楽のテンポの差をさらに示しているのが、二つの〈抜頭〉である。この録音の舞楽の〈抜頭〉は夜多羅拍子（2+3拍子）で只拍子よりさらに躍動感に富むため、始まりは♩=71、終わりは♩=131に達する。〈長慶子〉は舞楽会で締めくくりの退出音楽として、現在でもたいへん速いテンポで演奏されるが、ここでも最も速いテンポをマークしている。

次に、KBS録音を1903年のガイスバーグ録音と比較してみよう。ガイスバーグ録音とは、ロンドンのEMIの録音技師兼プロデューサーだったフレデリック・ガイスバーグFrederick Gaisbergが、1903年、東京築地のメトロポールホテルで行なった録音のことである。このうち、約40年後のKBS録音と同じ所収曲は〈越天楽〉〈青海波〉〈合歓塩（太平楽急）〉¹⁵の3曲である。さらに、曲は異なるが、参考までに同じ管絃・只拍子の曲として、ガイスバーグの〈陪臚〉とKBSの〈抜頭〉を比べてみよう。表4からわかる通り、〈越天楽〉と〈青海波〉は、KBS録音がゆっくりのテンポで始まり、ほとんど加速しないのに対し、ガイスバーグ録音は、始まりはKBSと同じくらいであるが、すぐに加速し、テンポの上限が♩=120くらいになる（グラフ2-1,2-2）。また、〈合歓塩〉と〈抜頭〉〈陪臚〉については（グラフ2-3,2-4）、いずれも、ガイスバーグ録音のほうがゆっくり始まっているが、途中からKBS録音の速度を越えて、最終

的には $\downarrow = 140$ 程度の、きわめて速い速度に達している。

4. フレージングの比較

次に、ガイスバーグ録音とKBS録音のフレーズの切り方を比べてみよう。参考までに、ガイスバーグ録音（1903）とKBS録音（1941/42）の中間地点の邦楽調査掛¹⁶の採譜（1916-1928）と、現行の演奏（1990年代）¹⁷を比較してみよう。ただし、比較が可能なのは、この四点の資料に共通して収録されている〈越天楽〉と〈青海波〉（いずれも管絃）のみである。

図1は〈越殿楽〉、図2は〈青海波〉の比較図である。各段最上部の「・」は小拍子、「●」は太鼓を打つ箇所を表す。各小拍子は四分音符4拍分の時価を有し、小拍子2つを太線で区切った。各段の下部には龍笛の唱歌を記した。唱歌の中で（ ）を付してある音節は、「明治撰定譜」¹⁸には記されていない文字である。音符は、音高の変化を捨象し、息が続いている時間をできるだけ長い線で表す。線の合間の空白は、息継ぎをして音が鳴っていないことを表す。

すでに拙稿で示した通り、明治末のガイスバーグ録音は、速いテンポでより大きな単位のフレーズを一息で吹く傾向が強く、それに対して、現行演奏は、テンポがゆっくりで、フレーズの途中で息つきを入れ、産み字を挿入するパターンが多い（寺内2002：94-96）。邦楽調査掛の採譜は、その中間を示している。KBSのフレージングは、ほぼ現行のものと同じである。これらの事実から、明治年間には、速いテンポで二小拍子を単位とする大きなフレーズを一息で吹く傾向が強かったが、時代が下るに従って、テンポが下がり、細かく息継ぎをする傾向が増した、また、現在のようなゆっくりのテンポで、フレーズを細かく分割し息継ぎを挿入する様式は、1940年ころまでにはすでに成立していた、と考えられるのである。

まとめ

以上、本稿では1940年代の録音をもとに、唐楽の演奏様式を分析した。これを1903年のガイスバーグ録音の唐楽と比較すると、次のような変化を指摘でき

るだろう。まず、1903年の録音は、テンポとフレージングの点で、管絃と舞樂の区別が今日のようにはっきりしていない。簡単に言うと、分析対象としたすべての楽曲が、今日の舞樂のように、速いテンポで、しかも、大きなフレーズを一息で吹く傾向が強い。それに比べ、1940年代のKBS録音は、舞樂は比較的速いままだが、管絃のテンポは大幅にゆっくりになり、その意味で、舞樂と管絃の様式的な二極分化が進んだと言える。また、管絃のスローダウン化と平行して、フレーズを細分化し、息継ぎを挿入するアーティキュレーションが増えてくる。細分化されたフレーズは、ほぼ今日の演奏様式と同じである。つまり、1940年代には、ほぼ今日のような、舞樂と管絃のスタイルが成立していたと考えられるのである。

謝辞

本稿の執筆に当たっては、ニューヨークのアルバイター・レコードArbeiter Recordsのアラン・エヴァンスAllan Evans氏、および、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターの田井竜一氏にたいへんお世話になった。ここに記して感謝申し上げる。

注

- 1 EMIの技師兼プロデューサーだったFrederick Gaisbergによる出張録音。明治36(1903)年に、東京築地のメトロポールホテルで行われた。CD復刻版『全集 日本吹込み事始』で聴くことができる。
- 2 現在、このレコードは、国内では京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、国立劇場、上野学園日本音楽史研究所などでの所蔵が確認できる。京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターと国立劇場のものは、田邊尚雄氏旧蔵品。本稿は、筆者がアメリカ滞在中に紹介された、ドナルド・リチーDonald Richie氏、ベアテ・シロタ・ゴードンBeate Sirota Gordon氏旧蔵品をもとに執筆している。
- 3 国際文化振興会の正式な英語名称はInternational Organization for the Promotion of Cultureであるが、通称のKBSで呼ばれることが多い。

- 4 KBSの制作した蓄音機レコードは、1937年には600枚程度であったが、1940年には1220枚に達し、その半数は、「東洋」の各地に送られたらしい（芝崎1999：147）。
- 5 レコードは1949年4月に完成したらしいが、町田嘉章による解説（英文）の年季は1953年となっている（国際文化振興会1949/1953）。規模は20枚（40面）に縮小している。
- 6 町田が編集したのは北海道から九州までの巻。沖縄・奄美編（4巻）は、小泉文夫と東京藝術大学民族音楽ゼミナールが編集（1982-1993）。
- 7 表2のうち、ガイスバーグ録音が行なわれた明治36（1903）年当時の在職者は、多久元、多忠朝、多忠保、多基永のみで、いずれも修行中の「楽生」の身分であった。
- 8 舞を伴わない室内合奏。管楽器、絃楽器、打楽器で演奏され、相対的にゆっくりのテンポで、微細な表現に重きをおく演奏法。今日の高麗楽には管絃の演奏習慣はなく、舞楽のみ。唐楽は両方ある。
- 9 洋楽の2+4拍子のような拍節感を持つリズム。
- 10 舞楽の伴奏としての演奏法。管楽器、打楽器のみで演奏され、相対的に早いテンポで、強いアクセントをつけて演奏される。
- 11 洋楽の2+3のような拍節感を持つリズム。
- 12 右方の舞楽の後に演奏される時は、三鼓を伴奏に用いる。左方舞楽の後の場合は、鞆鼓を用いる。
- 13 雅楽では、旋律の進行とは別に、打楽器は同じリズムパターンを繰り返し、そのパターンが何回繰り返されるかによって楽曲の長さを表示する。
- 14 ただし、二返目以降は、ABの繰り返しを省略し、ABCDCDEFEF（拍子二十）とする。
- 15 ガイスバーグ録音の所収曲は〈盤渉調音取〉〈青海波〉〈白柱〉〈越殿楽〉〈蘭陵王〉〈武徳楽〉〈胡飲酒破〉〈陪臚〉〈合歡塩〉ですべて管絃。なお〈越殿楽〉はガイスバーグ録音では各部分の繰り返しを省略して、ABCABで演奏している。
- 16 東京音楽学校内に明治40（1907）年に設置された機関。日本の伝統音楽の保存と研究を目的とした。具体的には、伝統音楽の諸ジャンルの蠟管録音と五線譜採

譜、近世三味線音楽の年表作成などが行なわれた。雅楽の採譜は、大正5（1916）年から昭和3（1928）年にかけて、宮内省の楽人、多忠基、東儀俊龍、多久寅、奥好義、および作曲家の弘田龍太郎によって行なわれた。20数曲の完成稿が東京藝術大学附属図書館に残る。詳しくは、寺内2000, 2002, 2003を参照。

17 CD『雅楽の世界 上』、演奏：東京楽所、日本コロムビア、COCF-6194、1990年。

18 宮内省雅楽課によって、明治9（1876）年と21（1888）年に撰定された楽譜集。今日の宮内庁楽部の演奏レパートリーの基準となっている。

参考文献

芝崎厚士

1999『近代日本と国際文化交流：国際文化振興会の創設と展開』東京：友信堂高文社。

田邊尚雄

1926『日本音楽講話』東京：岩波書店。

1968『南洋・台湾・沖縄音楽紀行』（東洋音楽選書）東洋音楽学会編、東京：音楽之友社。

1970『中国・朝鮮音楽調査紀行』（東洋音楽選書）東洋音楽学会編、東京：音楽之友社。

塚原康子

2001『近代雅楽制度の研究：戦前期の宮内省式部職楽部を中心に』平成10-11年度科学研究費補助金（基盤研究C2）研究代表者：塚原康子、研究成果報告書。

寺内直子

2000「東京音楽学校邦楽調査掛「雅楽記譜法扣」『日本文化論年報』（神戸大学国際文化学部日本文化論講座）3: 1-19.

2001「邦楽調査掛における雅楽採譜作業の経緯」『日本文化論年報』4: 18-40.

2002「20世紀における雅楽のテンポとフレージングの変容：ガイスバーグ録音と邦楽調査掛の五線譜」『国際文化学研究』17: 85-111.

2003『近代日本における伝統音楽の再認識～雅楽の五線譜化をめぐって～』（平成12-14年度科学研究費補助金（基盤研究（C）2）研究代表者：寺内直子、研究成果報告書）。

日本放送協会編

1944-1980『日本民謡大観』東京：日本放送出版協会。

平野健次

1989a「田邊尚雄」『日本音楽大事典』東京：平凡社、p.740-741.

1989b「町田嘉章」『日本音楽大事典』東京：平凡社、p.682.

町田嘉章

1940『日本民謡集成』（レコード解説書）東京：日本民謡レコード頒布会。

Machida, Kashô 町田嘉章（佳声）

1953 *Notes on Japanese music with special reference to the Album of Japanese Music compiled by Kokusai Bunka Shinkôkai.*

視聴覚資料

The Album of Japanese Music (SPレコード), Kokusai Bunka Shinkôkai, 1949.

『雅楽の世界 上』(CD)、演奏：東京楽所、日本コロムビア、COCF-6194、1990年。

『全集 日本吹込み事始』(CD) 東芝EMI、TOCF-59061-71、2001年。

町田嘉章編『日本民謡集成』(SPレコード) 東京：日本民謡レコード頒布会、1940年。

表1 昭和17 (1942) 完成品収録曲リスト

- ・この表は、1942年の完成品『日本音楽集』のレコードラベルに基づき作成しているが、演唱者に関する情報の一部は1949年版の抄録と『日本民謡集成』(町田1940)から補っている。
- ・この表の「1949」欄は、抄録レコードの何面に収録されているかを表している。

Table 1 Complete list of *The Album of Japanese Music* (full version) (1942)

This table is based on the labels of the full version of the Album (1942), but complemented with the data of the extract version of 1949 and *Nihon min'yō Shūsei* (Machida 1940).

The column of '1949' indicates side on which pieces are recorded in the 1949 version.

vol. 巻	side 面	genre ジャンル	title 曲名	performer 演奏者	1949
1	1A	gagaku 雅楽	"Agebyōshi 揚拍子" from Kume-uta 久米歌	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	1A
	1B	gagaku 雅楽	"Oburi 於振", "Ni-uta二歌" from Azuma-asobi 東遊	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	1B
	2A	gagaku 雅楽	Taishikichō chōshi, bongen 太食調調子・品玄	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	
	2B	gagaku 雅楽	Koma ichōshi 高麗意調子	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	
	3A	gagaku 雅楽	Etenraku 越天楽 (tōgaku 唐楽, hyōjō-mode平調)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	2A
	3B	gagaku 雅楽	Konron hassen no kyō 崑崙八仙 急 (komagaku 高麗楽, Koma ichikotsuchō mode高麗一越調)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	2B
	4A	gagaku 雅楽	Seigaiha 青海波 (tōgaku 唐楽, Banshikichō 盤涉調)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	
	4B	gagaku 雅楽	Chōgeishi 長慶子 (tōgaku 唐楽, Taishikichō 太食調, uhō右方)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	
	5A	gagaku 雅楽	Taiheiraku no ha 太平楽破 (Bushōraku 武昌楽) (tōgaku 唐楽)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	
	5B	gagaku 雅楽	Taiheiraku no kyō 太平楽急 (Gakkaen合歡塩) (tōgaku 唐楽)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	
	6A	gagaku 雅楽	Batō 抜頭 (tōgaku 唐楽, sahō 左方, tada byōshi 只拍子)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	3A
	6B	gagaku 雅楽	Batō 抜頭 (tōgaku 唐楽, uhō 右方, yataru byōshi 夜多羅拍子)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	3B
	7A	gagaku 雅楽	Koromogae 更衣 (saibara 催馬楽)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	
	7B	gagaku 雅楽	Kashin 嘉辰 (rōei 朗詠)	Kunaishō gakubu 宮内省楽部	
	8A	shōmyō 声明	Shichisan 四智讃 (Tendai 天台)	Nakayama Gen'yū 中山玄雄	
	8B	shōmyō 声明	Shakujō 錫杖 (Tendai 天台)	Nakayama Gen'yū 中山玄雄	
	9A	shōmyō 声明	Kyōke 教化 (Tendai 天台)	Nakayama Gen'yū 中山玄雄	
	9B	shōmyō 声明	Taiyou 対揚 (Tendai 天台)	Nakayama Gen'yū 中山玄雄	
	10A	shōmyō 声明	Ungabai 云可唄 (Shingon 真言)	Onozuka Yochō 小野塚與澄	

	10B	shōmyō 声明	Kassatsu 合殺 (Shingon 真言)	Onozuka Yochō 小野塚與澄	
	11A	shōmyō 声明	Rongi 論義 (Tendai 天台)	Nakayama Gen'yū, Yoshida Tsunezō 中山玄雄、吉田恒三	4A
	11B	shōmyō 声明	Rokudō kōshiki 六道講式 (天台)	Nakayama Gen'yū 中山玄雄	4B
	12A	shōmyō 声明	Wasan 和讃 (Shakanyorai gowasan 釈迦如来御和讃)	Osanai Soken 小山内素憲	
	12B	shōmyō 声明	Goeika ご詠歌 (Junreika 巡礼歌)	Suzuki Kiso 鈴木きそ、Satō Chiyo 佐藤ちよ	
2	13A	nō 能	Takasago 高砂 (su-utai 素謡) (Kanze 観世)	Kanze Tetsunojō 観世鐵之丞	
	13B	nō 能	Yashima 八島 (su-utai 素謡) (Kongō 金剛)	Kongō Iwao 金剛巖	
	14A	nō 能	Hagoromo 羽衣 (ban-bayashi 番囃子) (Konparu 金春)	Sakurama Kintarō 桜間金太郎、Kawasaki Rikichi 川崎利吉、Kō Gorō 幸悟朗、Issō Eiji 一噌鉄二、Kakimoto Toyoji 柿本豊次	5A
	14B	nō 能	Hagoromo 羽衣 (continued)	Sakurama Kintarō 桜間金太郎、Kawasaki Rikichi 川崎利吉、Kō Gorō 幸悟朗、Issō Eiji 一噌鉄二、Kakimoto Toyoji 柿本豊次	5B
	15A	nō 能	Matsumushi 松虫 (su-utai 素謡) (Kita 喜多)	Kita Roppeita 喜多六平太	
	15B	nō 能	Aoi no ue 葵上 (su-utai 素謡) (Konparu 金春)	Sakurama Kintarō 桜間金太郎	
	16A	nō 能	Hachinoki 鉢木 (Rongi ロンギ) (su-utai 素謡) (Kanze 観世)	Umewaka Manzaburō 梅若万三郎、Hōshō Arata 宝生新	
	16B	nō 能	Hachinoki 鉢木 (Rongi) (continued)	Umewaka Manzaburō 梅若万三郎、Hōshō Arata 宝生新	
	17A	nō 能	Youchi Soga 夜討曾我 (icchō 一調) (Hōshō 宝生)	Kondō Kenzō 近藤乾三、Ōkura Rokuzō 大倉六蔵	
	17B	nō 能	Youchi Soga 夜討曾我 (icchō 一調) (continued)	Kondō Kenzō 近藤乾三、Ōkura Rokuzō 大倉六蔵	
	18A	nō 能	Teika ichiji no dai 定家一字題 (rangyoku 蘭曲) (su-utai 素謡) (Kanze 観世)	Umewaka Manzaburō 梅若万三郎	
	18B	nō 能	Teika ichiji no dai 定家一字題 (continued)	Umewaka Manzaburō 梅若万三郎	
	19A	nō 能	Sanekata 実方 (rangyoku 蘭曲) (su-utai 素謡) (Shimogakari Hōshō 下懸宝生)	Hōshō Arata 宝生新	
	19B	nō 能	Sanekata 実方 (continued)	Hōshō Arata 宝生新	
	20A	kyōgen kouta 狂言小歌	Tsuchiguruma 土車, Nanatsu ni naruko 七つになる児 (Ōkura 大蔵)	Shigeyama Sengorō 茂山千五郎	6A
	20B	kyōgen kouta 狂言小歌	Uji no sarashi 宇治の晒, Fuku no kami 福の神 (Ōkura 大蔵)	Shigeyama Sengorō 茂山千五郎	6B
	21A	biwa 琵琶	Jishin kyō 地神經 (Mōsō 盲僧)	Kitada Meichō 北田明澄	7A
	21B	biwa 琵琶	Nasu no Yoichi 那須与一 (Heike 平家)	Satō Masakazu 佐藤正和	7B
	22A	biwa 琵琶	Koatsumori 小敦盛 (Satsuma 薩摩)	Yoshimura Gakujō 吉村岳城	
	22B	biwa 琵琶	Gishi no honkai 義士の本懐 (Chikuzen 筑前)	Tanaka Kyokurei 田中旭嶺	
	23A	shakuhachi 尺八	Ajikan 阿字観 (Fuke shakuhachi 普化尺八)	Miyagawa Josui 宮川如山	
	23B	shakuhachi 尺八	Kokū reibo 虚空鈴慕 (Kinko 琴古)	Aoki Reibo 青木鈴慕	
	24A	shakuhachi 尺八	Iwashimizu 石清水 (Tozan 都山)	Katayama Yūzan 片山雄山、Sekino Shōzan 関野生山	
	24B	shakuhachi 尺八	Oiwake-bushi 追分節 (Zokkyoku 俗曲)	Wakui Kogetsu 涌井古月	

3	25A	koto 箏	Hien no kyoku 飛燕の曲	Kikuhara Hatsuko 菊原初子、Kikuhara Kotoji 菊原琴治	8A
	25B	koto 箏	Rokudan 六段	Nakahashi Gyoumu 中橋暁夢	8B
	26A	koto, shamisen 箏, 三味線	Shouchikubai 松竹梅	Yonekawa Fumiko 米川文子、Kawase Satoko 川瀬里子、Fukuda Eika 福田栄香	
	26B	koto 箏	Kogou no kyoku 小督の曲	Koshino Eishō 越野栄松、Onodera Tamae 小野寺玉枝、Fujii Chiyoga 藤井千代賀	
	27A	koto 箏	Chidori no kyoku 千鳥の曲	Satō Masakazu 佐藤正和、Yokoi Mitsue 横井みつゑ	9A
	27B	koto 箏	Mikuni no homare 御国の誉	Yonekawa Chikatoshi 米川親敏、Katō Jūko 加藤柔子	9B
	28A	koto 箏	Miyako no haru 都の春	Yamamuro Chiyoko 山室千代子、Chibu Tose 千布豊勢、Noutomi Judou 納富寿童	
	28B	koto 箏	Shin sarashi 新さらし	Imai Keishō 今井慶松、Yamase Shōin 山勢松韻	
	29A	gidayū 義太夫	Ichinotani futaba gunki: Kumagai jin'ya no dan 一の谷双葉軍記: 熊谷陣屋の段	Takemoto Oritayū 竹本織太夫、Takezawa Danroku 竹澤團六、Nozawa Katsuyoshi 野沢勝芳	
	29B	gidayū 義太夫	Honchō nijūshikou: kitsunebi no dan 本朝廿四考: 狐火の段	Takemoto Oritayū 竹本織太夫、Takezawa Danroku 竹澤團六、Nozawa Katsuyoshi 野沢勝芳	
	30A	gidayū 義太夫	Adesugata onna maiginu (Sankatsu Hanshichi): Sakaya no dan 艶容女舞衣(三勝半七): 酒屋の段	Takemoto Oritayū 竹本織太夫、Takezawa Danroku 竹澤團六、Nozawa Katsuyoshi 野沢勝芳	10A
	30B	gidayū 義太夫	Shinpan utazaimon (Osome Hisamatsu): Nozakimura no dan 新版歌祭文(お染久松): 野崎村の段	Takemoto Oritayū 竹本織太夫、Takezawa Danroku 竹澤團六、Nozawa Katsuyoshi 野沢勝芳	10B
	31A	katō 河東	Sukeroku yukari no Edo zakura 助六由縁江戸桜	Yamabiko Yoneko 山彦米子、Yamabiko Hideko 山彦秀子、Yamabiko Yaeko 山彦八重子	
	31B	icchū 一中	Matsu no hageromo 松の羽衣	Miyako Ichiume 都一梅、Miyako Ichika 都一花	
	32A	shinnai 新内	Sekitori senryounobori 関取千両織	Fujimatsu Tsurutayū 富士松鶴太夫、Fujimatsu Tsurutodayū 富士松鶴登太夫、Fujimatsu Tsuruhachi 富士松鶴八	
	32B	miyazono 宮園	Toribeyama 鳥辺山	Miyazono Senhiro 宮園千廣、Miyazono Senyae 宮園千八重	
	33A	tokiwazu 常磐津	Shin utsubo 新朝	Tokiwazu Matsuodayū 常磐津松尾太夫、Tokiwazu Mojibee 常磐津文字兵衛、Tokiwazu Yaohachi 常磐津八百八	
	33B	tokiwazu 常磐津	Ichikawa yamanba 市川山姥	Tokiwazu Mitosedayū 常磐津三東勢太夫、Tokiwazu Chitosedayū 常磐津千東勢太夫、常磐津文字兵衛、Tokiwazu Yaohachi 常磐津八百八	11A
	34A	kiyomoto 清元	Kanda matsuri 神田祭	Kiyomoto Umejudayū 清元梅寿太夫、Kiyomoto Umekichi 清元梅吉、Kiyomoto Umesaburō 清元梅三郎	11B
	34B	kiyomoto 清元	Sanja matsuri 三社祭	Kiyomoto Shizutayū 清元志寿太夫、Kiyomoto Eijirō 清元栄次郎、Kiyomoto Eiji 清元栄治	
	35A	nagauta 長唄	Echigo jishi 越後獅子	Yoshimura Ishirō 芳村伊四郎、Kineya Rokuji 稀音家六治、Kineya Rokushirō 稀音家六四郎、Katada Kisaburō 堅田喜三郎、Katada Kisaku 堅田喜三久、Mochizuki Taijirō 望月太意次郎	12A
	35B	nagauta 長唄	Aki no irokusa 秋色種	Yoshizumi Kotōji 吉住小桃次、Kineya Rokuji 稀音家六治、Kineya Rokushirō 稀音家六四郎	12B

	36A	nagauta 長唄	Ayatsuri sanbasô 操三番叟	Fujita Shinzô 富士田新蔵、Matsushima Jusaburô 松島寿三郎、Kashiwa Senzaemmon 柏扇左衛門、Katada Kisaburô 堅田喜三郎、Mochizuki Taigorô 望月太意五郎、Mochizuki Tazaemon 望月太左衛門、Mochizuki Tajirô 望月太意次郎、Katada Kisaku 堅田喜三久	13A
	36B	nagauta 長唄	Tsunayakata 綱館	Kineya Rokuzaemon 杵屋六左衛門、Okayasu Kihachirô 岡安喜八郎、Kineya Rokurosuke 杵屋六郎助、Katada Kisaburô 堅田喜三郎、Mochizuki Tazaemon 望月太左衛門、Mochizuki Tajirô 望月太意次郎、Katada Kisaku 堅田喜三久	13B
4	37A	jiuta 地歌	Yashima 八島	Tomiyama Seikin 富山清琴、Tomizaki Shunshô 富崎春昇	
	37B	ogie 荻江	Fukagawa hakkei 深川八景	Ogie Suzuko 荻江壽々子、Ogie Akiko 荻江章子、Ogie Fusako 荻江ふさ子	
	38A	utazawa 歌澤	Aki no yo 秋の夜	Utazawa Toraemon 歌澤寅右衛門、Utazawa Torakiyoko 歌澤寅清子	
	38B	utazawa 哥澤	Washiga kuni sa わしが国さ	Utazawa Shibakin 哥澤芝金、Utazawa Shibasei 哥澤芝勢以	
	39A	kouta 小唄	Samidare 五月雨, Kyara no kaori 伽羅のかほり	Kaneko Chieko 金子千恵子、Tamura Taiko 田村たい子、Sahashi Akiko 佐橋章子	
	39B	kouta 小唄	Yae hitoe 八重一重, Aki no nanakusa 秋の七草	Kasuga Toyoki 春日とよ喜、Kasuga Toyo 春日とよ、Kasuga Toyoharu 春日とよ晴	
	40A	hauta 端唄	Harusame 春雨	Mamechiyo 豆千代、Toyokichi 豊吉、Kotomo 小友	14A
	40B	hauta 端唄	Kyô no shiki 京の四季	Kyoto Gionshinchi renchô 京都祇園新地連中	14B
	41A	hauta 端唄	Ozatsuki sansagari 御座附三下り, Dodoitsu 都々逸	Fujimoto Fumikichi 藤本二三吉、Koshizu 小静、Hideha 秀葉	
	41B	hauta 端唄	Yakkosan 奴さん, Fukagawa 深川	Fujimoto Fumikichi 藤本二三吉、Koshizu 小静、Hideha 秀葉	
	42A	kagura 神楽	Washinomiya jinja jûniza kagura: Urayasu shihougatame no dan 鷲宮神社十二座神楽: 浦安四方国堅之段	Saitama-ken, Washinomiya-machi, Washinomiya jinja ujiko shachô 埼玉県南埼玉郡鷲宮町鷲宮神社氏子社中	15A
	42B	kagura 神楽	Haruna jinja kagura: soukiyome, kamunegi, sanshu no harai 榛名神社神楽: 左右清目, 神満禰貴, 三種之葎	Gunma-ken, Gunma-gun, Haruna jinja ujiko shachô 群馬県群馬郡榛名神社氏子社中	15B
	43A	kagura 神楽	Shishi odori: hayashi (Oshidori odori, Kanoko odori) 鹿踊 囃子(おしどり踊り, 鹿の子踊り)	Miyagi-ken, Kurihara-gun, Ariga-mura 宮城県栗原郡有賀村	16A
	43B	sairei-bayashi 祭礼囃子	Sairei shishimai: Nuno mai, Hei no mai, Suzu no mai, Nakaotoshi 祭礼獅子舞: 布舞, 弊束ノ舞, 鈴ノ舞, 中落シ	Chiba-ken, Chôsei-gun, Honnô-machi, Tachibana jinja ujiko shachô 千葉県長生郡本納町橋神社氏子社中	16B
	44A	sairei-bayashi 祭礼囃子	Oyama bayashi: Roppou, Nihondake, Age bayashi, Jinku 飾山囃子: 六法, 二本竹, 拳囃子, 甚句	Akita-ken, Senboku-gun, Kakunodate-machi 秋田県仙北郡角館町	
	44B	sairei-bayashi 祭礼囃子	Sairei bayashi (Edo bayashi): Kamakura, Okazaki byôshi, Nageai 祭礼囃子 (江戸囃子): 鎌倉, 岡崎拍子, 投合	? (記載なし)	
	45A	komori-uta 子守唄	(1)Komori-uta of Nanbu 南部, Sendai 仙台, Aizu 会津	Ônishi Tamako 大西玉子	
	45B	komori-uta 子守唄	(2)Komori-uta of Kantô 関東, Nagoya 名古屋, Ôsaka 大阪	Oka Michiko and others 岡通子ほか	
	46A	komori-uta 子守唄	(3)Komori-uta of Chûgoku 中国, Shikoku 四国, Kita-kyûshû 北九州	Yamamoto Yoshie 山本芳江	
	46B	komori-uta 子守唄	(4)Komori-uta of Amami 奄美, Ryûkyû 琉球, Yaeyama 八重山	? (記載なし)	

	47A	warabe-uta わらべ唄	Otsukisama ikutsuお月様いくつ, Usagi usagi兎々, Kagome かごめ, Hotaru koi 蛍来い, Ondoradora おんどらどら	Aoitori Jidô Gasshōdan 青い鳥児童合唱団	
	47B	warabe-uta わらべ唄	Zuizui zukkorobashi づいづいづっころぼし, Tenjinsama no hosomichi 天神様の細道, Hiraita hiraita 開いた開いた, Sannou no osarusan 山王のお猿さん, Yuyake koyake 夕焼小焼, Kaeru ga naku kara kaero 蛙が鳴くからかへろ	Aoitori Jidô Gasshōdan 青い鳥児童合唱団	
	48A	riyou 俚謡	Hatoma-bushi 鳩間節, Mami ga pana 豆が花 (Ryūkyū: Yaeyama 琉球: 八重山)	Yamauchi Reikō 山内伶晃, and others その他	
	48B	riyou 俚謡	Vasuntui-bushi 鷲め鳥節, Asatoya-bushi 安里屋節 (Ryūkyū: Yaeyama 琉球: 八重山)	Yamauchi Reikō 山内伶晃, and others その他	
5	49A	riyou 俚謡	Taue-uta 田植唄 (Gunma pref.) Momisuri-uta 初摺唄 (Akita pref.)	Gunma-ken, Seta-gun, Kaigaya-mura 群馬縣勢多郡桂萱村 Akita-ken, Yuri-gun, Konoura-machi 秋田縣由利郡金浦町	17A
	49B	riyou 俚謡	Taue-uta 田植唄 (Hiroshima pref.) Mochitsuki-uta 餅搗唄 (Shimane pref.)	Hiroshima-ken, Hiba-gun, Hiwa-machi 広島縣比婆郡比和町 Shimane-ken, Naka-gun, Gounotsu-machi 島根縣那賀郡江津町	
	50A	riyou 俚謡	Hōhai-bushi ホーハイ節 (Aomori pref.)、 Tsugaru-yamauta 津軽山唄 (Aomori pref.)	Aomori-ken, Aomori-shi 青森縣青森市 Aomori-ken, Higashi-tsugaru-gun 青森縣東津軽郡	17B
	50B	riyou 俚謡	Mugiuchi-uta 麦打唄 (Chiba pref.) Mugitsuki-uta 麦搗唄 (Fukushima pref.)	Chiba-ken, Sousa-gun, Toyohata-mura 千葉縣匝瑳郡豊畑村 Fukushima-ken, Sōma-gun, Mano-mura 福島縣相馬郡眞野村	
	51A	riyou 俚謡	Sakaya-uta 酒屋唄 (Motosuri-uta 酩摺唄) (Hiroshima pref.) Chatsukuri-uta 茶作り唄 (Chatsumi-uta 茶摘唄) (Shizuoka pref.) Chatsukuri-uta 茶作り唄 (Chamomi-uta 茶もみ唄) (Shizuoka pref.)	Hiroshima-ken, Kamo-gun, Saijō-machi 広島縣賀茂郡西條町 Shizuoka-ken, Shizuoka-shi 静岡県静岡市 Shizuoka-ken, Shizuoka-shi 静岡県静岡市	
	51B	riyou 俚謡	Kamisuki-uta 紙漉唄 (Fukui pref.) Urushikaki-uta 漆掻唄 (Fukui pref.) Benibanatsumi-uta 紅花摘唄 (Yamagata pref.)	Fukui-ken, Imadate-gun, Okamoto-mura 福井縣今立郡岡本村 Fukui-ken, Imadate-gun, Kawawada-mura 福井縣今立郡河和田村 Yamagata-ken, Yamagata-shi 山形縣山形市	
	52A	riyou 俚謡	Wata hokashi-uta 綿ほかし唄 (Yamanashi pref.)、Itotsumugi-uta 糸紡ぎ唄 (Yamanashi pref.) Zakuri-uta 座繰唄 (Yamanashi pref.) Orihata-uta 機織唄 (Saitama pref.)	Yamanashi-ken, Nakakoma-gun, Mitsue-mura 山梨縣中巨摩郡三恵村 Yamanashi-ken, Minami-tsuru-gun, Kawaguchi-mura 山梨縣南都留郡河口村 Saitama-ken, Iruma-gun, Toyooka-mura 埼玉県入間郡豊岡町	
	52B	riyou 俚謡	Kakuma kari-uta かくま刈唄 (Yamagata pref.) Ikada nori-uta 筏乗唄 (Nara pref.)	Yamagata-ken, Yamagata-city 山形縣山形市 Nara-ken, Yoshino-gun, Kita-yamakawa-mura 奈良縣吉野郡北山川村	
	53A	riyou 俚謡	Jizuki-uta 地搗唄 (Tochigi pref.) Nagamochi-uta 長持唄 (Akita pref.)	Tochigi-ken, Kawachi-gun, Shinoi-mura 栃木縣河内郡篠井村 Akita-ken, Akita-shi 秋田縣秋田市	
	53B	riyou 俚謡	Nanbu ushikata-bushi 南部牛方節 (Iwate pref.) Nanbu umakata-bushi 南部馬方節 (Iwate pref.)	Iwate-ken, Shimohei-gun 岩手縣下閉伊郡 Iwate-ken, Morioka-shi 岩手縣盛岡市	

54A	riyou 俚謡	Settou-bushi 石刀節 (Akita pref.) Nanbu kobiki-uta 南部木挽唄 (Iwate pref.)	Akita-ken, Kazuno-gun, Osarizawa 秋田県鹿角郡尾去沢 Iwate-ken, Morioka-shi 岩手県盛岡市	
54B	riyou 俚謡	Matsumae oiwake 松前追分 (Hokkaidô)	Hokkaidô, Matsumae 北海道松前	
55A	riyou 俚謡	Nishinryô no uta 鯨漁の唄 (Hokkaidô) : Ami okoshi kiyari 網起し木遣、 Okiage ondo 沖揚音頭、Kazunoko tataki uta 数ノ子タタキ唄	Hokkaidô, Otaru-shi, Yoichi 北海道小樽市余市	18A
55B	riyou 俚謡	Tairyô utaikomi 大漁唄込み (Miyagi pref.) : Oiwai 御祝、Saitara-bushi 斉太郎節、Toshima jinku 渡島甚句	Miyagi-ken, Matsushima kaigan 宮城県松島海岸	18B
56A	riyou 俚謡	Bon odori-uta 盆踊唄 (Ônosaka 大の阪) (Niigata pref.)	Niigata-ken, Kita-uonuma-gun, Horinouchi-machi 新潟県北魚沼郡堀ノ内町	
56B	riyou 俚謡	Bon odori-uta 盆踊唄 (Yagi-bushi 八木節) (Tochigi pref.)	Tochigi-ken, Ashikaga-gun, Yamabe-mura 栃木県足利郡山辺村	
57A	riyou 俚謡	Shounai obako 庄内おぼこ (Yamagata pref.) Akita obako 秋田おぼこ (Akita pref.)	Yamagata-ken, Shounai 山形県庄内 Akita-ken, Senboku-gun 秋田県仙北郡	
57B	riyou 俚謡	Souma nagareyama 相馬流れ山 (Fukushima pref.) Tsugaru yosare 津軽よされ (Aomori pref.)	Fukushima-ken, Souma-gun 福島県相馬郡 Aomori-ken, Tsugaru shigun 青森県津軽四郡	
58A	riyou 俚謡	Sado okesa 佐渡おけさ (Niigata pref.) Sangai-bushi 三階節 (Niigata pref.)	Niigata-ken, Sado-gun, Aikawa-chô 新潟県佐渡郡相川町 Niigata-ken, Kashiwazaki (geisha) 柏崎の芸者	19A
58B	riyou 俚謡	Iso-bushi 磯節 (Ibaraki pref.) Tairyô-bushi 大漁節 (Chiba pref.)	Ibaraki-ken, Ooarai kaigan 茨城県大洗海岸 Chiba-ken, Chôshi-shi 千葉県銚子市	
59A	riyou 俚謡	Kiso-bushi 木曾節 (Nagano pref.) Ina-bushi 伊那節 (Nagano pref.)	Ushiyama Nirô (Nagano-ken, Higashi-chikuma-gun, Fukushima) , 長野県東筑摩郡福島 Nagano-ken, Shimoina-gun, Iida (geisha) 長野県下伊那郡飯田 (芸者)	19B
59B	riyou 俚謡	Ecchû owara-bushi 越中おはら節 (Toyama pref.) Yamanaka-bushi 山中節 (Ishikawa pref.)	Toyama-ken, Nei-gun, Yatsuo-machi 富山県婦負郡八尾町 Ishikawa-ken, Enuma-gun, Yamanaka onsen 石川県江沼郡山中温泉	
60A	riyou 俚謡	Yasuki-bushi 安来節 (Shimane pref.) Dossari-bushi どっさり節 (Shimane pref.)	Hamada Umekichi (Shimane-ken, Nogi-gun, Yasuki-machi) 島根県能義郡安来町 (浜田梅吉) Sasaki Ai (Shimane-ken, Suki-gun, Saigô-machi) 島根県周吉郡西郷町 (佐々木あい)	20A
60B	riyou 俚謡	Hakata-bushi 博多節 (Fukuoka pref.)、Kagoshima ohara-bushi 鹿児島 小原良節 (Kagoshima pref.)	Akasaka Koume 赤坂小梅、Toyokichi 豊吉 (geisha 芸者)	20B

表2 昭和14(1939)年の宮内省式部職楽部

Table 2 Personell of Music Department, Imperial Household Agency, 1939

この表は、塚原康子の『近代雅楽制度の研究』(塚原2001: 57,61,62, 29-44)をもとに作成した。

This Table is based on the research by Tsukahara Yasuko (Tsukahara 2001: 57,61,62, 29-44).

氏名	name	生没年 b/d	職掌/専門/年齢 status/specialty/age in 1939	
多久元	ÔNO, Hisamoto	1878-1955	楽長(箏) director (hichiriki)	61
多忠朝	ÔNO, Tadatomo	1883-1956	楽長(笛) director (fue)	56
多忠保	ÔNO, Tadayori	1873-1941	楽師(主事)(笙) chief musician (shô)	66
豊昇三	BUNNO, Shôzô	1890-1973	楽師(主事)(笙) chief musician (shô)	49
芝祐孟	SHIBA, Sukemoto	1890-1950	楽師(主事)(笛) chief musician (fue)	49
多基永	ÔNO, Motonaga	1888-1969	楽師(箏) musician (hichiriki)	51
山井景昭	YAMANOI, Kageaki	1894-1945	楽師(笛) musician (fue)	45
芝祐泰	SHIBA, Sukehiro	1898-1982	楽師(笛) musician (fue)	41
東儀俊輔	TÔGI, Toshisuke	1900-1939	楽師(箏) musician (hichiriki)	39
藺広茂	SONO, Hiroshige	1901-2000	楽師(笙) musician (shô)	38
多重雄	ÔNO, Shigeo	1902-1958	楽師(笛) musician (fue)	37
安倍季巖	ABE, Sueyoshi	1904-1986	楽師(箏) musician (hichiriki)	35
藺広進	SONO, Hiroyuki	1904-1977	楽師(笙) musician (shô)	35
東儀文盛	TÔGI, Fumimori	1902-1941	楽師(箏) musician (hichiriki)	37
多忠紀	ÔNO, Tadatoshi	1898-1945	楽師(笙) musician (shô)	41
東儀兼泰	TÔGI, Kaneyasu	1899-1972	楽師(箏) musician (hichiriki)	40
藺広高	SONO, Hirotaka	1891-1942	楽師(笙) musician (shô)	48
辻寿男	TSUJI, Toshio	1908-1981	楽師(笙) musician (shô)	31
藺一雄	SONO, Kazuo	1912-?	楽師(笙) musician (shô)	27
上真淳	UE, Sanekiyo	1908-1943	楽師(笛) musician (fue)	31
多忠雄	ÔNO, Tadao	1911-?	楽師(笙) musician (shô)	28
久保喜久夫	KUBO, Kikuo	1913-?	楽師(箏) musician (hichiriki)	26
芝健四郎	SHIBA, Kenshirô	1910-1943	楽師(笛) musician (fue)	29
奥好寛	OKU, Yoshihiro	1915-2000	楽師(笛) musician (fue)	24
東儀和太郎	TÔGI, Masatarô	1921-1992	楽師(箏) musician (hichiriki)	18
豊雄秋	BUNNO, Katsuaki	1915-1989	楽師(笙) musician (shô)	24
多久尚	ÔNO, Hisanao	1917-1968	楽師(笙) musician (shô)	22
多忠睦	ÔNO, Tadachika	1926-1945	楽師(笛) musician (fue)	13
林多美夫	HAYASHI, Tamio	1917-1973	楽師(笙) musician (shô)	22
浅井忠信	ASAI, Tadanobu	?-?	?	
岡武雄	OKA, Takeo	1920-1947	楽師(箏) musician (hichiriki)	19
藺広育	SONO, Hiroyasu	1919-?	楽師(笙) musician (shô)	20
上近隆	UE, Chikataka	1919-?	楽師(笛) musician (fue)	20
奥元朝	OKU, Motoasa	1919-1984	楽師(箏) musician (hichiriki)	20
林広太郎	HAYASHI, Hirotarô	1920-1945	楽師(笙) musician (shô)	19
岡正雄	OKA, Masao	1921-?	楽師(笛) musician (fue)	18
東儀信太郎	TÔGI, Shintarô	1920-1993	楽師(箏) musician (hichiriki)	19

表4 KBSとガイスバーグ (GBと略す) 録音の唐楽曲テンポ比較表

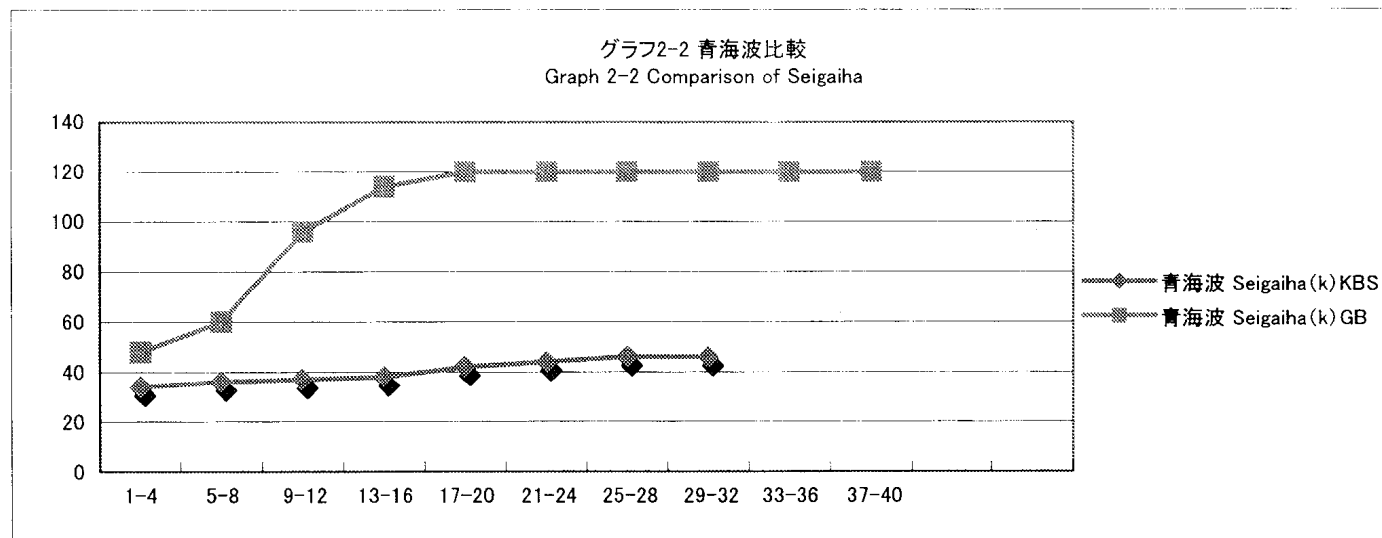
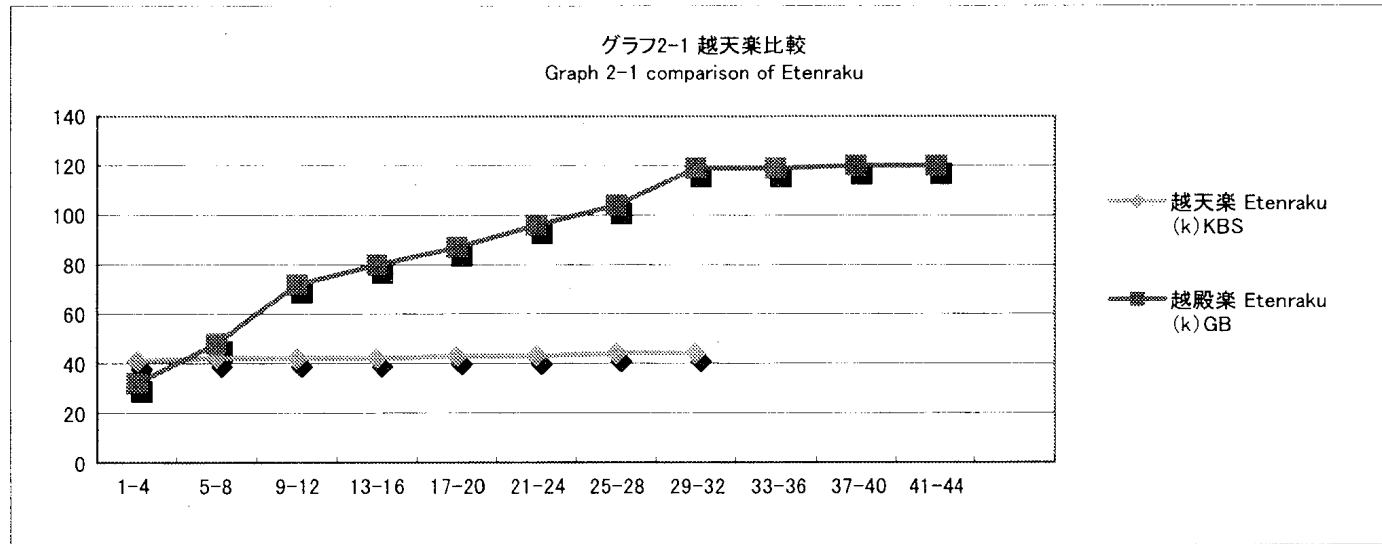
Table 4 A comparison of tempi of *tôgaku* pieces in KBS and Gaisberg (GB)

曲名 title	小拍子 bar	1-4	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44			時間 time
越天楽 Etenraku(k)KBS		41	42	42	42	43	43	44	44						3'25"
越殿楽 Etenraku(k)GB		32	48	72	80	87	96	104	119	119	120	120			2'14"
曲名 title	小拍子 bar	1-4	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40				時間 time
青海波 Seigaiha(k)KBS		34	36	37	38	42	44	46	46						3'07"
青海波 Seigaiha(k)GB		48	60	96	114	120	120	120	120	120	120				1'50"
曲名 title	小拍子 bar	1-4	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44	45-60	61-80	時間 time
合歡塩 Gakkaen(b/t)KBS		65	74	82	88	90	94	102	108	112	116	120			2'59"
合歡塩 Gakkaen(k/t)GB		28	43	90	96	118	118	118	118	120	120	124	140	140	3'13"
曲名 title	小拍子 bar	1-4	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44			時間 time
抜頭 Batô(k/t)KBS		61	62	67	70	73	74	80	80						3'08"
陪臚 Bario(k/t)GB		36	65	80	112	120	120	132	132	140	140	144			3'01"

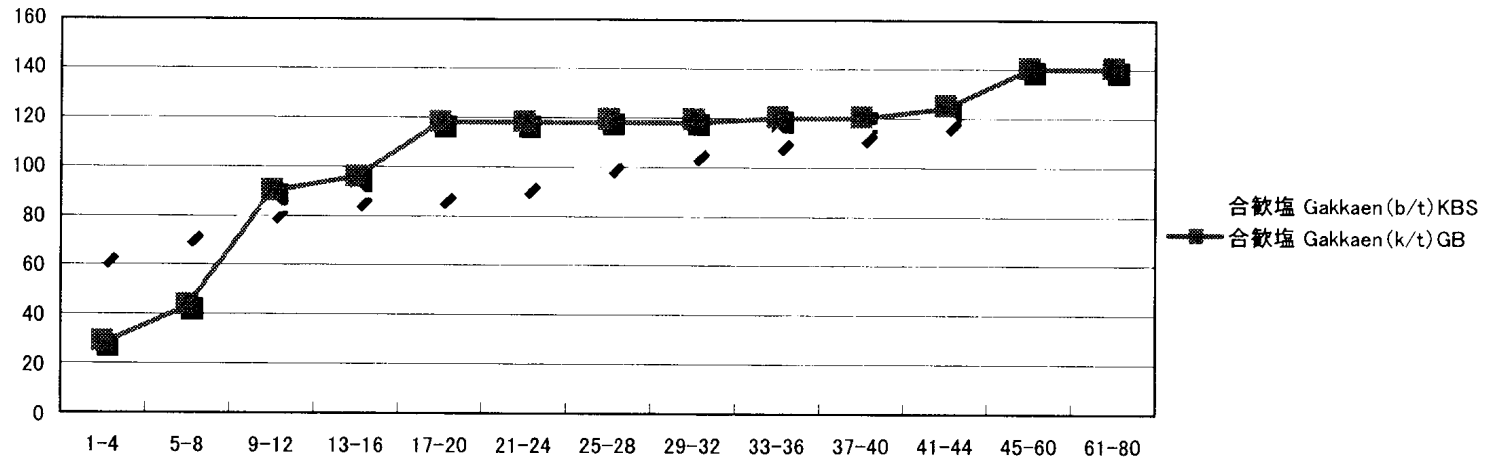
注: 曲名のあとの“k”は管絃、“t”は只拍子を表す。

note: After each title, "k" indicates "kangen", "b" indicates "bugaku", and "t" indicates "tada-byôshi" (2+4=6 meter).

グラフ 2 KBSとガイスバーグ（GBと略す）録音の唐楽曲テンポ比較グラフ
Graph 2 A comparison of tempi of *tôgaku* pieces in KBS and Gaisberg (GB)



グラフ2-3 合歓塩比較
Graph 2-3 Comparison of Gakkaen



グラフ2-4 陪臚、抜頭比較
Graph 2-4 Comparison of Bairo and Batô

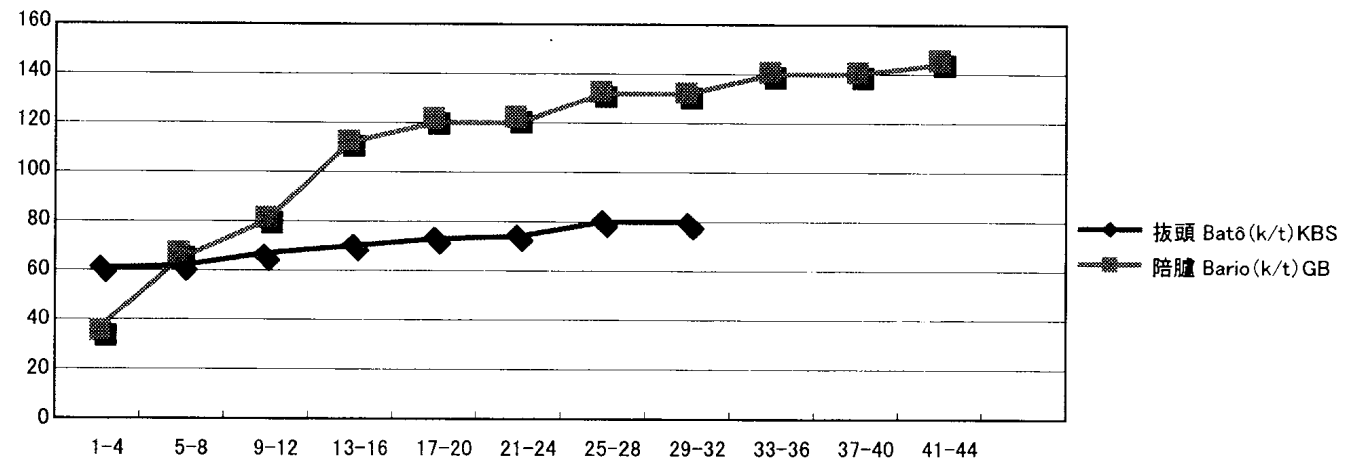
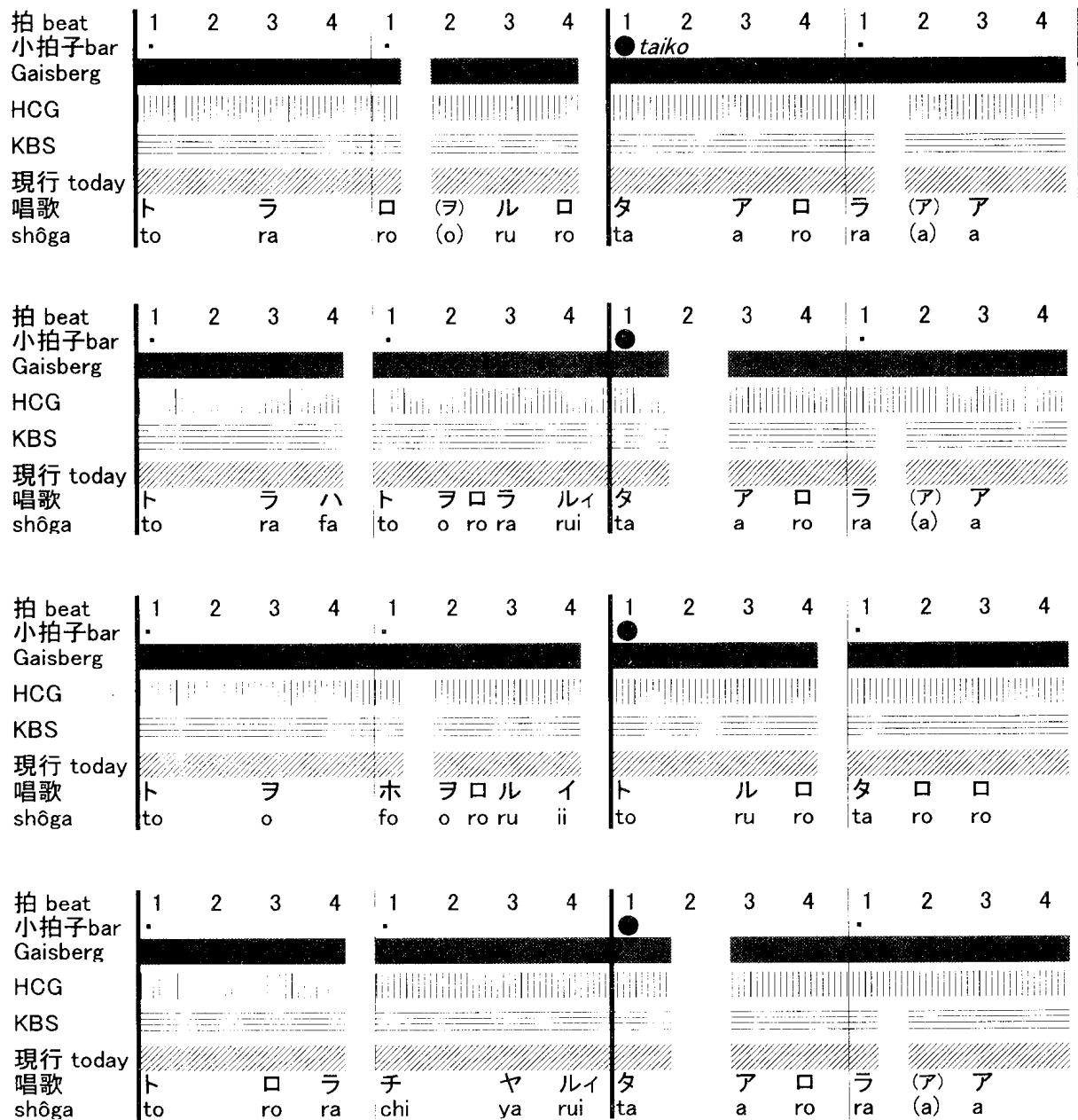


図1 〈越天楽〉(平調)のフレージング比較

Figure 1 A comparison of phrasings in "Etenraku" (hyôjô mode)



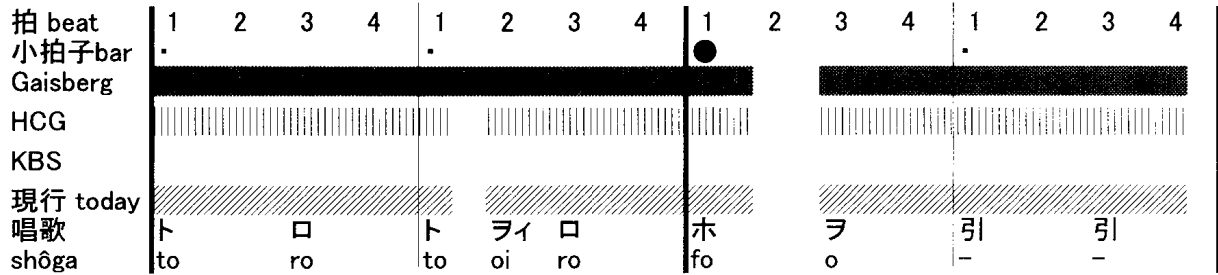
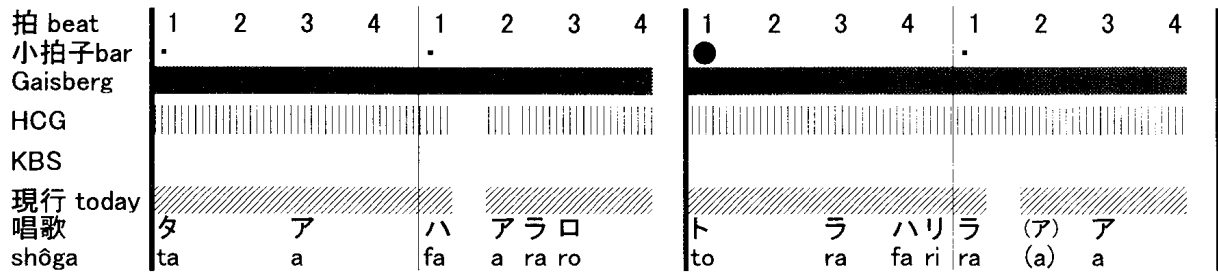
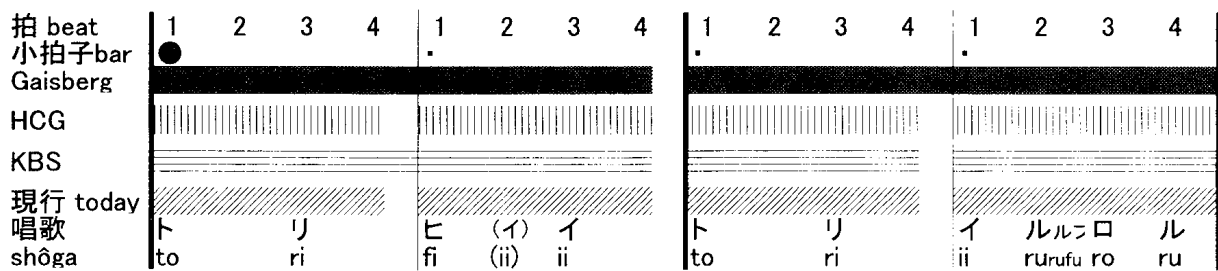
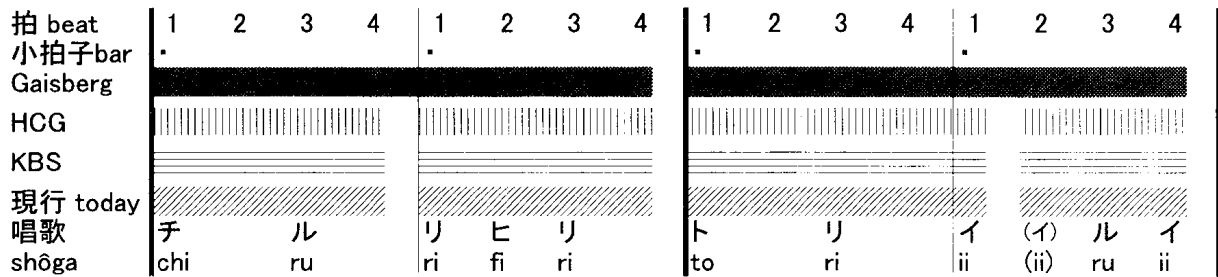


図2 〈青海波〉(盤渉調)のフレーズ比較

Figure 2 A comparison of phrasings in “Seigaiha” (banshikichō mode)



拍 beat	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
小拍子bar			
Gaisberg	■				■				■				■			
HCG																
KBS	=====				=====				=====				=====			
現行 today	//////				//////				//////				//////			
唱歌	ロ	ヲ	リ	(イ) イ	タ	ア	ラ	ア	(ア) ロ	ル						
shōga	ro	o	ri	(ii) ii	ta	a	ra	a	(a) ro	ru						

拍 beat	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
小拍子bar	●				.				.				.			
Gaisberg	■				■				■				■			
HCG																
KBS	=====				=====				=====				=====			
現行 today	//////				//////				//////				//////			
唱歌	ロ	(ヲ) ヲ	ト	ヲ	リ	イ	引	引	フ							
shōga	ro	(o) o	to	o	ri	ii	-	-	fu							

拍 beat	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
小拍子bar			
Gaisberg	■				■				■				■			
HCG																
KBS	=====				=====				=====				=====			
現行 today	//////				//////				//////				//////			
唱歌	ロ	ヲ	ル	ロ	(ヲ) リ	タ	ア	ハ	(ア) ア							
shōga	ro	o	ru	ro	(o) ri	ta	a	fa	(a) a							

拍 beat	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
小拍子bar	●				.				.				.			
Gaisberg	■				■				■				■			
HCG																
KBS	=====				=====				=====				=====			
現行 today	//////				//////				//////				//////			
唱歌	タ	ア	ハ	(ア) ア	タ	アラ	ロ	ヒ	ロ	(ヲ) ヲ						
shōga	ta	a	fa	(a) a	ta	a	ra	ro	hi	ro	(o)	o				

拍 beat	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		
小拍子bar					
Gaisberg	[Solid bar]				[Solid bar]				[Solid bar]									
HCG	[Vertical lines]				[Vertical lines]				[Vertical lines]									
KBS	[Horizontal lines]				[Horizontal lines]				[Horizontal lines]									
現行 today	[Hatched bar]				[Hatched bar]				[Hatched bar]									
唱歌	ト		リ		イ	ル	ル	ロ	ル	タ		ア	ラ	ア	(ア)	ロ	ル	ト
shōga	to		ri		ii	ru	ru	ro	ru	ta		a	ra	a	(a)	ro	ru	to

拍 beat	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		
小拍子bar	●				.				.				.					
Gaisberg	[Solid bar]				[Solid bar]				[Solid bar]									
HCG	[Vertical lines]				[Vertical lines]				[Vertical lines]									
KBS	[Horizontal lines]				[Horizontal lines]				[Horizontal lines]									
現行 today	[Hatched bar]				[Hatched bar]				[Hatched bar]									
唱歌	ラ		ロ		リ	(イ)	イ			チ		ル	ウイ	ト	ヲ	ロ	リ	ト
shōga	ra		ro		ri	(ii)	ii			chi		ru	ui	to	o	ro	ri	to

拍 beat	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		
小拍子bar					
Gaisberg	[Solid bar]				[Solid bar]				[Solid bar]									
HCG	[Vertical lines]				[Vertical lines]				[Vertical lines]									
KBS	[Horizontal lines]				[Horizontal lines]				[Horizontal lines]									
現行 today	[Hatched bar]				[Hatched bar]				[Hatched bar]									
唱歌	ラ		ロ		リ	(イ)	チ	ラ		ト		ロ		タ	(ア)	ル	ラ	
shōga	ra		ro		ri	(ii)	chi	ra		to		ro		ta	(a)	ru	ra	

拍 beat	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		
小拍子bar	●				.				.				.					
Gaisberg	[Solid bar]				[Solid bar]				[Solid bar]									
HCG	[Vertical lines]				[Vertical lines]				[Vertical lines]									
KBS	[Horizontal lines]				[Horizontal lines]				[Horizontal lines]									
現行 today	[Hatched bar]				[Hatched bar]				[Hatched bar]									
唱歌	ト		ヲ		ト		リ	ル	ル	リ	イ		引		引			
shōga	to		o		to		ri	ru	ru	ri	ii		-		-			

Gaisberg = ガイスバーグ録音 (1903)

HCG (Hōgaku Chōsa Gakari) = 邦楽調査掛採譜 (1916-1928)

KBS (Kokusai Bunka Shinkōkai) = 国際文化振興会レコード (1942)

today 現行 = CD『雅楽の世界 Gagaku no sekai』東京楽所 Tokyo gakuso, 1990